

TPP 新聞



守ろう! 命と暮らしと未来



〈発行元〉
TPP交渉差止・違憲訴訟の会
<http://tpphantai.com>



集会には8,000人が集結。「協定文の誤訳など、審議の前提が崩れている。アメリカでも承認が不透明さを増すなか急ぐ必要はない」とするアピール文を採択した。その後、新橋～銀座～東京駅までデモ行進し、道行く人に「TPP反対」「早期批准させな」とアピールした

日本だけ批准強行? ありえない!

なぜ、パリ協定よりも TPPを急ぐ必要があるのか?

TPP交渉差止・違憲訴訟の会は10月3日～8日、幹事長の山田正彦ほか、市民団体とともにワシントンでバーニー・サンダース、エリザベス・ウォーレン各上院議員、ポール・ライアン下院議長などの事務所を訪問したほか、市民団体と情報交換をした。詳細は本誌7ページをお読みいただきたいが、どの団体も、「TPPが米議会で承認される可能性はゼロに近い。日本は、アメリカの状況を待って審議を始めるべきで、私たちには理解できない」と言っていた。

安倍首相は17日の衆議院TPP特別委員会で「確かにアメリカの状況は心配だが、だからこそ率先して世界をリードして、機運を高めていきたい」と言う。首相でさえ、アメリカの状況を憂慮しているのだ。

TPP特別委員会で民進党筆頭理事の篠

原孝議員は17日の委員会で、地球温暖化を防止するためのパリ協定が米国、中国、インドをはじめ55か国以上で批准され、11月4日に発効することに触れ、「パリ協定の早期批准こそ、国益だ。日本はなぜ、見通しの立たないTPPを急いで批准する必要があるのか?」と述べたがその通りだ。また、「TPPには『透明性と腐敗防止』という章があるのに、国が透明性を確保しないというのはどういうことか」と、黒塗りの交渉過程についても追及した。

「TPPバスの終着点は墓場」 政権の暴走を許してはならない

10月15日には東京・芝公園で、「TPPを批准させない! 10.15 一万人行動」が開催。全国から8,000人(主催者発表)が集い、怒りの声を上げ、銀座をデモ行進した。

社民党副党首の福島みずほ参議院議員は、

「経済学者のジョセフ・スティグリッツは「TPPは自由貿易でなく、管理貿易だ」と指摘したがその通りだ。強欲資本主義のための協定は、人々のためにはならない」と述べた。

日本共産党書記局長の小池晃参議院議員は、「米国民は、国内の雇用、産業が破壊されるからTPPに反対している。アメリカの大統領候補も、自民党と同じように公約を破ると考えているのか」と指摘した。

自由党共同代表の山本太郎参議院議員は、TPP報道について言及。「TPPは、マスコミの広告主である多国籍企業、大企業のための条約。だから農業問題に矮小化されてきた。一人一人が、TPPの危険性をわかりやすい言葉で伝えていくことが鍵だ」と訴えた。

現防衛大臣の稲田朋美氏は、過去に「TPPバスの終着点は、日本文明の墓場」と発言している。こんな政権がTPPを批准しようという。暴走を許してはならない。(10月18日)

急いで決める必要がどこにある？

内容以前に、進め方が
あまりに非民主主義的

櫻田 マスメディアではあまり報道されていないけど、いま私の地元の北海道では、台風の被害がかなり深刻なことになっています。畑の再開に何年もかかるんじゃないかっていう状況で、もうみんな、TPPどころじゃない。せめて審議を遅らせてほしいのに、国会では批准に向けて話が進められている。熊本の震災の時は審議が延期されたので、今回もそうならないかと思っていたのに……。

中野 そもそも、急いで決める必要がどこにあるのかな？

山田 TPPの内容について、もっと国民の理解を得なければいけないのにね。国のことを一番に考えなきゃいけないはずの政府が、勝手にどんどん決めてしまっているのかな。

奥田 学校で例えれば、生徒会から「今年はこんな方針でやります」という紙が配られて、それが黒塗りで真っ黒だったら、「それはないでしょう!」って思いますよね。TPPって、もはやそういうレベルの話で進んでいる。内容以前の問題だと思わない？

一同 確かに!(笑)

奥田 政府は、交渉の過程からあまりにも非民主主義的な、国民を馬鹿にするような進め方をしている、国民に納得してもらおうという姿勢が見えない。臨時国会でもろくな議論になる気がしません。

中野 そもそも最初は、自民党も「断固反対」って言ってましたよね。それを信じてみんな投票したら、政権を取った途端に手のひらを返された。その時点で、国民に信頼されていないんじゃないかと思う。

根本 TPPのイメージは悪いけど、わかっていない部分も多い。周りのみんなも、あまり理解しようとしていない気がしています。

櫻田 私は参院選の時、どういう問題に関心があるかというテーマで、シール投票をやったんです。TPPにシールを貼った人に理由を聞くと、「変な食べ物が入ってくるかもしれない」と言っていました。でも、医療やその他の分野にも影響があることはあまり知らないみたい。確かに報道されないし、知られていないんだなと思いました。普通に生活していたら、自分からかなり積極的に情報を取りにいかないと、TPPの中身を知ることはできない。このままではまずいと思います。

お金基準で計ってはいけないものがある

奥田 うちの大学では賛成という人が多いです。「アベノミクスは成功している」「TPPに入れば経済的なメリットがある」という人は賛成派ですね。

中野 貿易的には自由になる。だからいろいろな食品が入ってくるけれど、日本の車の輸出と

若者か考え

TPPのことを、
もっと知る機会が欲しい



根本 麗香
(ねもと・れいか)

神奈川県立厚木清南高等学校3年生。17歳。生徒会活動を3年間行い、今年9月までは生徒会長を務めた。

自分だけが良ければいい、
っていうのは嫌



山田 瑠璃
(やまだ・るり)

自由の森学園高等学校3年生。18歳。授業の中での活発な議論がとて好き。将来は保育の道を志す。

真っ黒塗り、
それはないでしょう!



奥田 愛基
(おくだ・あき)

都内大学院生。24歳。SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動)の中心メンバーとして活動(2016年8月解散)。著書に『変える』。

か、産業は盛り上がる可能性があるっていう考え方ですよね。

奥田 「経済が良くないから、なんとかしなきゃいけない」という考え方に対して、TPPってすぐわかりやすい政策というか、「なんか変わる気がする」と思われがち。反対だと言ったときに、「じゃあこのままでいいの?」と言われても、具体的な解決策が出にくい。でもちょっと待って、と思う。安倍政権になってから、国内企業の内部留保は上がっている株価も上がっているけど、問題なのは、労働者の賃金が下がって実質的な国内消費が落ちているということ。「企業の利益を上げることで、結果的に国民のみなさんにも富が落ちてきます」という説明は、もう成り立たなくなっていると思うんです。世界中の反グローバル化の動きの中でみんなが言ってるのは、企業の利益が中間層に落ちてこないということ。貧乏人を助けるレベルどころか、もはや普通の人が普通の暮らしができないくらいの生活水準で困っているんです。富の分配が偏ってきている中で、それを防ぐルールのないTPPをやれば、さらに偏るだけ。それが、僕がTPPに反対する理由です。

山田 私は学校の田んぼでお米を作っていました。そこで思うのは、お米とか私たちが大事にしてきた日本のものが、TPPでなくなっていくのが悲しい。お金よりもそういうものが軽んじられるのはおかしいと思います。

中野 テレビでも、何かにつけてお金を絡めて話されることが多いと思います。「お金が大事」っていう経済的なことばかりが強調されて、刷り込まれている気がする。

奥田 僕も学費や家賃を払って稼ぐの大変だなと思うし、もちろんお金は大事。でも、お金基準で計ってはいけないものってあるじゃないですか。儲からないけど大事っていうものを切り

捨て、儲かる方に変えようという価値基準って怖いと思う。

中野 土地とか文化とかは、やっぱりお金だけでは計れない部分がある。

奥田 知的財産権もTPPの中で重要な問題だよ。クールジャパンとか言ってるんだったら、もっと大事にしていけないと。

中野 僕は芸術系の大学に行っているの、知的財産権のことはとくに気になります。著作権の保護期間が延びて、非親告罪化されたり、二次創作を萎縮させたりするような方向に向かっていくのは、こちらも作る気がなくなるし、クリエイターがいなくなる。アニメなんかは日本が誇る文化だと思っているので、そういう、本来自由であるべき芸術表現や文化がお金で計るような対象になっていくのは大反対。僕が一番反対しているのはそこですね。

奥田 アメリカでは「雇用や労働者の権利が奪われる」ということで、多くの労働団体がTPPに大反対している。そういう問題が日本ではあまり聞かれないのは、なぜなんだろう。規制が緩和されてルールがなくなり、金儲けが一番の価値基準になっていくと、危険な方向に向かうと思う。きちんとしたルールで雇用形態を作っていないと、これから増えるといわれる外国人労働者だけでなく、僕ら自身にとっても地獄になる。ただでさえブラック企業などで問題だらけなのに。

「わからない」と言うことを
恐れちゃいけない

山田 内容を知ったうえで賛成するなら良いと思うけど、ちゃんと知っている人はあまりに少ない。知りたいと思うには、身近さが必要なのかな。TPPが始まったら具体的に何がかわるのかわかると、反対する人も増えると思う。

る TPP

もっと、みんなが
助け合える社会にしたい



櫻田 晶子

(さくらだ・しょうこ)

北海道旭川市出身、在住。元国際NGO職員。
旭川で活動するグループAFMA(旭川民主
主義、反ファシズム行動集団)中心メンバー。

議論することを
止めてはいけない



中野 開斗

(なかの・かいと)

神奈川県内大学1年生。趣味、関心事は
イラストやアニメ、二次創作など。



全容を明らかにしないまま、
TPP協定と関連法案の採決を
進めようとする政府。これから
を担う若者たちにとって、TPP
はどのように映っているのか。
率直な意見を語り合った。

いといけない。議論を止めちゃいけないんだと
思います。

櫻田 私は、理想論かもしれないけど、みんな
が助け合えるような社会にしていきたいです。
社会保障や福祉がセットになっていない経済政
策は、良くないと思う。

奥田 自由貿易って何なのか、問わないといけ
ないと思う。自由競争だというけれど、初めか
ら勝敗が決まっているようなルールというのは、
フェアじゃないんじゃないかな。

中野 「環太平洋パートナーシップ協定」って
いうけど、それじゃパートナーじゃないよね(笑)

奥田 最低限の食料自給率を守るとか、食の
安全を守るとか、これ以上は譲れないところ
があると思う。日本がこれまで守ってきたもの
を見つめ直す機会にするべきだし、国の設計を
もう一回考えないといけない。自由貿易よりも
と先にやる必要があると思う。富の分配とか、
そっちをやるべきなんじゃないかと思えます。

根本 TPPに限らず政治のことをもっと知りた
いし、知る機会が欲しい。授業とか講師が来る
機会とかが、もっとあったらいいと思う。

中野 知りたいと思っている人を放っておいて
はいけない。みんな、知りたい欲求はあるんだ
と思う。お金がかかっても、学べる機会を作る
ことは必要です。

山田 今の自分たちの利益だけではなく、その
先の世代に何を残していきたいかを考えてい
けば、TPPは「ちょっと違う」と思えるんじや
ないかな。例えば、よくわからない食品添加物
がたくさん入ってきて、それが自分の体の中
に溜まって、それが自分の子どもに行き、
そのまた次の世代にどんどん行くわけ
じゃないですか。自分だけの問題だ
ったら、まあいいかなと思える
こともあるかもしれないけど、その先
に残してしまうのは嫌です。

中野 確かに、自分の子どもや孫に、「じい
ちゃんたちの世代のせいでこうな
った」と思われたら嫌だな(笑)。

櫻田 TPPも含めて政治は自分たちの生活
のこと。だからみんなにもっとTPP
について知ってほしいし、私も
知りたい。まだ見ぬ自分の子
どものことも考えながら、普
通に話し合えたりする、
そういう仲間が増えたらいい
なと思えます。

奥田 確かにその通りなんだけど、「まず知ること
が大事」っていうのは、僕は逆だと思っている。
「みんなで考えましょう」っていう会をやると、
みんな「考えましょう」で終わっちゃう。それも大
事なことなんだけど、TPPに関してはもう条約が
承認されるかもしれないという状況で、もう時
間がないじゃないですか。安保法制の時も採決
まで3カ月しかなかった中で、「反対」と言い切
って声を上げたことは結果的に良かったと思
っています。「僕は反対」と言うことで、「私は賛
成」という意見も出て議論になって、それを見
る人が生まれていったと思うんですよ。

櫻田 でも、TPPって内容が難しく、知らない
と発言しちゃいけないっていう雰囲気もあり
ますよね。

奥田 安保法制のときに言っていたのは、「ど
こに行くかわからない修学旅行にお金を払い
たいと思う?」ということ。「わからないもの
にお金は払えない」って言えばいいのに、
みんな政治の話になると急に、「僕バカだ
から、わからないんですよ」って言う。本当
は、あなたがバカだからわからないんじや
なくて、きちんと説明されていないだけ。
もちろん勉強はするけれど、「それ、原則
的におかしいでしょう」というロジックで
いけば、「わからない」ということも武器
になる。

中野 「わからない」ことがダメなんじや
ない。大事な問題に気付いて、知ろうと
する、考えようとする努力は大事ですよ
ね。

奥田 知る方法を探していかないとはいけ
ないと思います。僕らの世代って、地元
のコミュニティもないし、労働組合も
なんとなく遠い。政治のことを考える
場所やツールが少ない。今の時代に
合った方法を考えていかないと。

櫻田 「若者の政治離れ」とか言われる
けど、学校の友達と政治の話ってし
ますか?

中野 友達同士で、政治や経済のこ
とを知

ていないとカッコ悪いみたいなイメ
ージは少しあるかな(笑)。みんな漠然
とした興味はある。自分の国のこと
に興味ない人はいないんじゃない
かな。

山田 私は割と話すほうかも。そん
なに積極的に話し出す人はいない
けど、学校の授業で政治のテーマ
になると大議論になる。

根本 私の学校では話さないです
ね。生徒会をやっているけどそこ
でも政治の話は出ない。でも、
生徒会の予算とかは自分たちで
決めてます。先生からはある程
度挙げてもらって、そこから
これは要る、要らないと分けたり。

櫻田 自治ですね。それも政治
みたいなものだと思います。

奥田 うん、自治の感覚って、
政治的なものだと思う。「社会
のこと=自分たちのこと」って
リアリティを持って感じられる。
そうやって誰かが決めてい
るんだな、ということがわか
ると、「なるほどな」って思
うし。

中野 例えば文化祭で「もっと
お金が必要」とか他の生徒に
言われるのも、国民が意見を
出しているようなものですよ
ね。

奥田 そういふのは経験してみ
ないとわからないよね。「そう
は言っても金がない」とか(笑)。
本を読んだり知識も大事だ
けど、経験も必要だと思います。

「パートナーシップ」な 協定じゃないよね

中野 賛成派の人たちは、経済
のためには「TPPをやらなきゃ
いけない」と思っている。だ
から、たとえTPPがなくな
ったとしても、また同じよ
うな政策が出てくると思う。
もっと、僕たち自身が地域
ぐるみで議論するとか、身
近に政治を感じてその延長
で考えることをしていかな

主張立証の継続を認めよ!

第5回口頭弁論の要旨

2016年7月20日、TPP交渉差止・違憲訴訟の

第5回口頭弁論が東京地方裁判所103法廷で開かれました。以下、要旨を報告します。

※以下は、速記要約のため、実際の発言と異なる場合があります。全文はホームページに掲載しています。

松本利幸裁判長（以下、裁判長） 開廷します。まず被告の5月31日付の準備書面(2)を陳述ですね。

被告代理人（以下、被告） 陳述します。

裁判長 原告は代理人名義の準備書面14、17、18を陳述ですね。

酒田芳人弁護士（以下、酒田） 陳述します。

裁判長 それと西尾原告の15準備書面、下山原告の16準備書面を陳述ですね。

酒田 はい。

裁判長 原告本人の陳述は一人2分をお願いしたい。

原告本人による準備書面陳述

西尾正道 TPPの最大のターゲットは医療だ。2013年の「タイムズ」紙の医療特集によれば、ロビー活動の金額は、医療・製薬産業が5,300億円、軍事産業が1,500億円、エネルギー産業が100億円で、この金額からも米国が医療を重視していることは明らかです。

1985年頃から、アメリカは日本の医療市場の自由化を強く要望してきました。日本には皆保険制度があり、厚労省の下、中医協で薬の公定価格を決めている。しかし、TPPが締結されると、透明性や公平性を確保しないという理由で、自由に公定価格を決めることが不可能になっていき、医薬品はとんでもない金額に高騰する。最終的には皆保険制度の破綻につながる。日米交換文書の中では、皆保険制度を見直すということまで掲げています。

そのほか、農業や遺伝子組み換え農産物などの規制も、日本独自で決めるといことができなくなっていく。例えば自閉症の原因として疑われているネオニコチノイド系農薬も規制できなくなる。遺伝子組み換えについても、その種子を販売している会社の社員食堂では食べていないのに、危険性をごまかして売り続けています。日本の食生活が大変危惧される。健康を守るという点で、食生活を含めて日本の制度を守るという点で、社会正義のために国民の公平性という観点から、司法できちんと判断していただきたいと思えます。

下山久信 私は千葉県のさんぶ野菜ネットワーク農業組合法人の役員、また全国有機農業推進協議会の事務局長もしている。今日も農水省に行って、農業村の話をしてきた。日本の農業の会社の団体に農業工業会というものがあり、そこに農水省の消費安全技術センターという農業を検査する部長が専務として下りしている。これはどういうことか。早急に改革をしないとというのが、私の要望です。

今、モンサントやシンジェンタなどの多国籍企業が日本の農地を取得し、すでに実験農場で遺伝子組み換えの研究をやっている。企業の農地取得というのが国家戦略特区で認められ、日本の農家が奴隷になってしまうような状況になりつつある。

基幹的農業従事者は200万人を割り、人口の1.6%となっている。輸入が拡大して食料自給率がどんどん低下することに対する対策は、残念ながら日本の農業政策にはないわけです。企業の農業参入を推進しているが、千葉県でもほとんど成功していない。安倍政権の「攻めの農林水産業」というのは、日本の農業を衰退に導く、亡国の道です。TPPには絶対に反対です。

原告代理人による準備書面陳述

1. 金融サービスについて

和田聖仁弁護士 TPPの金融サービスの最大の特徴は、各国政府によるマクロプルーデンシャル措置が、巧みなTPP文言により事実上行使できなくなり、TPPは金融危機の防波堤になり得ず、逆に金融危機を招来する危険性があるということです。金融サービスは、TPP全体の中でも最も重要な章です。

金融サービス章の中心は、第11.11条の例外規定であり、その規定に関するマクロプルーデンシャル措置とは、金融危機が起こった際に消費者や国民生活を守るために政府が行う金融安定化対策のことをいいます。1997年に発生したアジア通貨危機に際して、マレーシア政府のマハティール首相がヘッジファンドに対抗してとった資本取引規制・固定相場制や、世界金融危機以降のアメリカのドッド=フランクリン法などがその例です。世界では世界金融危機以降、マクロプルーデンシャル措置がより重視されるようになっています。

日本政府による本条の説明では、「本章等の他の規定に関わらず、締約国は、信用秩序の維持のための措置（マクロプルーデンシャル措置のこと）を採用し、または維持することを妨げられないこと等を規定」とありますが、アメリカ通商代表部（USTR）のテキストを分析すると、第11.11条の第1項の冒頭は、次のように書かれています。「締約国は、プルーデンシャル理由に基づく措置の採用または維持を妨げられない。この措置には、金融機関または越境サービス提供者が受託者義務を負う投資家、預金者、証券保有者を保護するために、または金融システムの信託性、安定性確保のためのものが含まれる。もし同措置が本協

定上の諸規定に合致しない場合、同措置は同諸規定の下での締約国の責務及び義務を回避する手段として用いられてはならない。」

本条の文章を分解すると、第1文でプルーデンシャル措置が認められる体制をとりながら、第3文は同措置を躊躇させる内容となっています。同措置は、それがTPP協定上で締約国に課された義務を損なう場合には行使できないとしており、結果的に同措置を断念にも匹敵する形で躊躇を決定させるに至るものです。

マクロプルーデンシャル措置が行使できなくなると、自国の金融システムを守る規制が働かなくなります。TPPの根本思想は、資金の流れを、国境の壁を取り払い、阻害されることなく自由に流動させる新自由主義にあります。それは、ウォール街のメガ金融グループの願望が実現されたものです。この結果、各国に国際金融資金が流入してバブルを作り、収奪して出て行く弊害がよりいっそう強まり、再び金融危機が引き起こされる危険性も指摘されています。これが、バーニー・サンダース上院議員やエリザベス・ウォーレン上院議員らがTPPに強く反対している理由です。

このようなTPP金融サービス章に関するアメリカ、ウォール街を中心とする勢力の日本に対する狙いは、ゆうちょ・かんぽ資金・約270兆円、JA共済の資金・約50兆円などの共済資金にあります。さらに年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の年金マネーや、日本銀行の金融緩和の資金、日銀マネーもターゲットに入っているという指摘もあります。

これらの資金が日本国内から国際市場に流出すれば、日本社会は、より一層の貧困化が進むことは必至です。TPP金融サービスの章における問題点は、郵政民営化による郵便貯金、簡易保険の資金の収奪という年次改革要望書の路線の延長にあり、また、そのバージョンアップ版でもいうべきものです。TPPが実質的に日米FTAといわれる所以です。TPPはこれまでの年次改革要望書などの背景にある新自由主義、構造改革路線の集大成でもいうべきものなのです。

2. 労働について

酒田芳人弁護士 TPP協定第19章「労働」には、国際的に認められた労働法令を執行すること、国際労働機関（ILO）の1998年の労働における基本的な原則及び権利に関する宣言並びに実施に関する措置（ILO宣言）に述べられた権利を、自国の法律等において採用・維持することなどについて定められています。

ILOは、労働基準の国際的調和を進める国際組

みやぎ生協はTPPに反対します



みやぎ生活協同組合

代表理事 理事長 宮本 弘

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 <http://www.miyagi.coop/>

pal*system

パルシステムはTPPに反対します!



パルシステム生活協同組合連合会

<http://www.pal-system.co.jp/>

織として設立されました。その設立根拠の一つとして、労働基準の相違が産品のコストに反映し、国際貿易における公正な競争条件を妨げることがありました。しかしILOは、特定の労働基準の充足を貿易自由化の条件とする社会条項に対しては、途上国の強い反対により、消極的な姿勢をとってきました。1998年に採択されたILO宣言では、中核的労働基準の履行を継続的に監視し支援していくというソフトな手続きを採用するにとどまり、米国が求めていた労働基準の履行を貿易自由化の条件として通商制裁に結びつけるという社会条項の考え方を斥けたのです。



弁護団・訴訟代理人の酒田芳人弁護士

こうした流れの中で、TPPに労働章が規定されれば、ILOの存在意義が失われるという問題があります。TPPの労働章では、問題が生じた場合に、他の締約国との対話及び労働協議をいつでも要請することができるほか、紛争解決章に基づいてパネルの設置を要請することができます。労働基準をきっかけに協議が開始されれば、労働基準よりも貿易自由化の価値が優先され、ILO条約のような国際労働基準にとっては望ましくない方向で妥協してしまう恐れがあります。

また、投資章で規定されたISDS条項によって、投資受入国の労働基準によって損害を被ったと主張する投資家によって、仲裁庭の判断が求められる可能性も考えられます。判断の際、ILOの存在が失われ、労働者の権利が保護されなくなる恐れがあるのです。

TPPにより雇用が失われる恐れもあります。米国タフツ大学が2016年1月に公表した分析によれば、TPP発効10年後には、日本のGDPは0.12%減少し、雇用も7万4,000人減少するとされています。多くの人の雇用が失われることは、勤労権や生存権の観点からも大きな問題があります。

また日本では、米国の意向を受けた解雇の金銭解決制度が導入される方向に進んでいます。その内容が、補償金の水準が高いなど、グローバル企業にとって不十分なものとされれば、ISDS条項を根拠に仲裁庭の判断が求められる可能性があります。実際に、フランスの企業が、エジプト政府が最低賃金を上げたという理由で、ISDS条項に基づいてエジプト政府を提訴した事例もあります。

労働者保護のために最低賃金を上げることでさえISDS手続きの対象となれば、日本政府は十分な労働者保護政策をとることができなくなります。労働者の地位はますます不安定となり、雇用が失われる恐れがあるのです。

今後の進行

裁判長 被告は、今日の書面のほかに主張することはありますか。

被告 現時点では反論を考えていませんが、原告からさらに書面が出た場合は検討します。

裁判長 原告の予定は。

酒田 今年2月の署名で示されたTPPの正文を踏まえて、主張の補充を検討しています。規制のコピーラ

ンスや漁業、越境サービスなどについて補充を予定している。次回の期日までに論点は大体完了する予定です。

裁判長 裁判所としては、これまでの双方の主張立証、今後の予定をお聞きしたことも踏まえ、弁論を最終して判断をするのか、さらに主張立証をしてもらうのかを検討したい。次回期日前に提出期限を切っただけ、その時点で出されたものを検討したうえで、判断結果を踏まえて進行を考える。

辻 被告は、それを見て反論することもあるということだったので、反論が出れば、我々は再反論を含めて検討したい。その機会はいただきたい。

裁判長 原告の主張を拝見して、その時点で判断する。次回期日までに裁判所で検討した結果を次回期日でお伝えするという事です。次の反論の機会が必要かどうかも含めて判断します。

辻 それについては、追加して意見書を出すこともありえます。

裁判長 追加して出されたものは、すべて拝見するつもりです。

辻 すでに立証計画を出しています。立証準備について、具体的な証人尋問の計画を出したい。

裁判長 準備書面を拝見して、さらに主張立証をしていただくのか、判断させていただくのかを裁判所は検討する。

辻 その判断に当たって、それ以前に立証準備を出した方がいいのか。

裁判長 主張を見て、その後の主張立証をしていただくのかどうかを判断しますので、先ほどおっしゃった補充の準備書面を出していただければ、裁判所としては結構です。

辻 ですから、こちらからは具体的な証人申請書を出したいと思っていますので。

裁判長 出されるのであれば出していただいて結構ですが、今までと同じようなスパンで出していただきたい。いつまでに出していただけますか。

山田正彦弁護団共同代表 その前に私から。主張立証計画も次に出したい。その次に我々の証人を準備したい。

裁判長 原告の希望の進行は受け止めますが、裁判所としては先ほど申し上げた通り。提出期日をおっしゃっていただけますか。

辻 正文の検討も含めて行いますので、10月末まで。

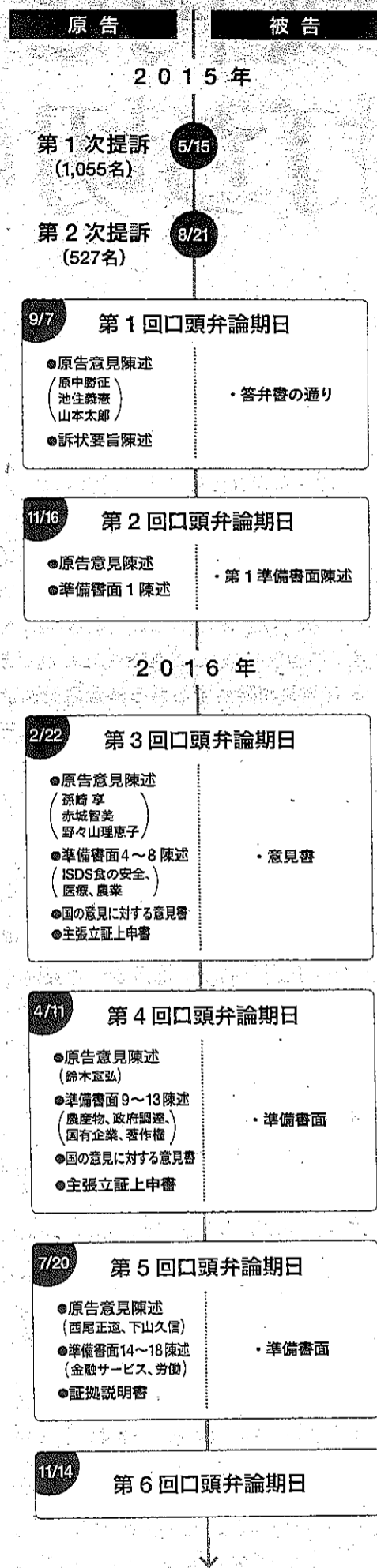
裁判長 もう少し早くしていただけないか。10月半ば、17日ぐらいまでお願いしたい。

辻 10月18日でもよろしいですか。

裁判長 では18日に。11月14日(月)14時半に期日を入れます。原告は10月18日(火)までに書面を提出いただきたい。閉廷します。



裁判の流れ



JR総連は、国民の生活、文化、いのちを守るためにTPPに反対します。

全日本鉄道労働組合総連合会 執行委員長 武井 政治

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13 URL http://jr-souren.com



裁判を 打ち切らせるな!

前回の期日で、
裁判長は審議を終結させる意向を示しました。
第6回の期日は、これを阻止する
重要な局面にきています。



次回期日は最大の山場

来たる11月14日の第6回口頭弁論期日は、大変重要な局面です。昨年5月に提訴して以降1年以上にわたり、法廷の場でTPPの違憲性を明らかにしてきたこの裁判が、打ち切られる危機に直面しています。

この訴訟の提訴にあたって、弁護団は、裁判所に対して幻想を持つことはできないと考えていました。①裁判は具体的権利侵害(法律上の争訟)に対して判断するものであり、侵害結果が発生する前の違憲確認訴訟は不合法、②TPP交渉などの政治課題は三権分立主義から裁判所の判断になじまない(司法消極主義)などの理由で、早期結審される恐れが十分にあったからです。

そこで、弁護団は、裁判をTPP反対の人々とともに大衆的に闘うことにしました。①弁護団が提出した準備書面を読み上げて傍聴者に理解してもらう、②原告が意見陳述して直接その声を裁判官に届ける、③裁判の開廷前、終了後に集会を開き、皆で当日の

裁判の内容を確認し合うなどして、第5回までの期日を実現してきました。

案の定、国はこの訴訟が不合法であるとして却下を求め、裁判所は原告の意見陳述を禁止しようとしていました。しかし、弁護団は満席の傍聴者が注視するなかで、国の主張に理由がないことを暴露し、裁判官の訴訟指揮が憲法や民事訴訟法の趣旨に反する違法なものであることを弾劾し、原告の意見陳述を実現。第18準備書面まで陳述し、数多くの書証も提出してきました。

あらゆる手段で 早期結審を阻止

前回の第5回口頭弁論期日において、裁判長は「次に審議を終結するか否か判断する」と述べ、国は即座に主張立証はないと結審を促しました。弁護団は、原告と証人の尋問申請を行うと申し入れましたが、裁判所は人証の採否の以前に終結か否かを判断するという一点張りでした。一切の尋問を聞

TPP交渉差止・違憲訴訟の会 弁護団 辻 恵 (つじ・めぐむ)

1948年京都市生まれ。東京大学法学部卒業。弁護士。元衆議院議員(2期)。元衆議院法務委員会与党筆頭理事。「オール関西 平和と共生」代表。著書に「政権崩壊」(共著 角川書店)。

かずに結審する意向は明らかです。

この訴訟は、当初の予想以上に充実した審理を実現し、TPPの違憲性を問題提起する社会的裁判として盛り上がりを示しつつあります。何としても原告本人尋問と証人尋問の実施を勝ち取り、裁判所に違憲判断をさせるため、絶対に審理を打ち切らせてはなりません。

国会では、TPP法案の拙速な成立が目論まれています。だからこそ裁判所に原告と証人の尋問を決定させ、TPPの問題点を法廷の場で明らかにする意義は極めて大きいのです。弁護団は、不退転の決意で、あらゆる手段を尽くして早期結審を阻止する決意です。

第3次訴訟に向けて

「当事者訴訟」で権利の確認と違憲判断を

TPP交渉差止・違憲訴訟では、第3次訴訟の準備も進めています。第1次・2次訴訟での原告側の請求内容のメインは、訴訟提起時点ではTPP「交渉」の差止めであり、現在は、「交渉」の差止めから「妥結」の差止めへと請求内容を変更していますが、その可否が判断される前に、TPP協定が批准されてしまう可能性が高まっています。そのため、第3次訴訟ではほかの請求内容も追加する必要があり、弁護団では「当事者訴訟」を検討しています。

行政法第4条では、「公法上の法律関係に関する確認の訴え」(実質的当事者訴訟)が認められています。これは、法律などで認められている当事者の権利や地位について、国に対してその確認を求める訴訟です。かつて、薬事法で薬局の開設を許可制と定め

た際、ある薬剤師が従来の法律ではそのような許可など必要なかったため、その許可なく薬局を開設することのできる権利の確認を求めた訴訟があり、薬事法が憲法上の職業選択の自由に反しないかについて裁判で争われた例があります。

今回の第3次訴訟では、個々の農民・消費者・患者などが現行法において保障されている権利について、TPPやその関連法で変更される恐れがあることを述べ、その変更が、憲法違反であるとして争っていかないと考えています。これにより、個々の原告の被害や、それが憲法違反であることも明らかにしやすくなります。被害の実態を明らかにすれば、本訴訟で並行して請求内容としている、国家賠償(慰謝料請求)や違憲確認も認められる可能性が高まると考え

ています。

第3次訴訟では、私たちの受ける被害や憲法違反の実態を、さらに裁判で明らかにしていく必要があり、原告のみならずには、TPPによる被害やその不安などを、もっともっと弁護団や訴訟の会にお伝えいただきたいと思っています。必ずや道は開けるはず。がんばりましょう。

弁護団 田井 勝 (たい・まさる)

1975年生まれ。香川県高松市出身。京都大学法学部卒業。2007年弁護士登録、横浜合同法律事務所所属。



日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会



理事長 永戸 祐三

協同労働による「仕事おこし・まちづくり」の協同組合

〒171-0014 東京都豊島区東池袋 1-44-3 池袋 I S P タマビル
TEL 03-6907-8040 FAX 03-6907-8041 <http://www.roukyou.gr.jp/>

日本の食と暮らし・いのちを守るために、
TPPに反対します。

サステイナブルなひと、
生活クラブ

生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 会長 加藤好一
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-24-20 KDX 新宿 6 丁目ビル



パブリック・シチズンのグローバル・トレード・ウォッチのディレクター、ロリ・ワラック氏

米議会が承認する可能性はゼロに近い

TPP交渉差止・違憲訴訟の会と市民団体のメンバーは10月3日～8日、ワシントンD.C.を訪問。現地の有力な市民団体とも情報交換し、最新の動向をうかがった。

オバマ大統領は説得を続けるが、米議会で通る見通しはほとんどない

現地では、これまでも密接な関係を保ってきた市民シンクタンクのパブリック・シチズンとの会合を行った。当日は、環境団体シエラクラブと労働団体のAFL-CIO（アメリカ労働総同盟）の貿易政策担当者も同席し、私たちを出迎えてくれた。

『TPP新聞』vol.02（2015年8月）にも寄稿したパブリック・シチズンのメリнда・セント・ルイス氏は、「オバマ政権は大統領選後の11月7日以降、次の政権が発足するまでのレームダック期間にTPP法案採決を試みようとしていますが、通る見込みはかなり少ないです」と説明してくれた。

客観的な観測によれば、2015年6月にわずか1票差で可決したTPA（大統領貿易促進権限）法で賛成票を投じた下院218議員のうち、TPPに反対する議員は増えても、賛成する議員は増えていない。だから、TPPを採決しても通る見込みはないのだ。しかし、大統領選と同時にされる上院・下院の議員選で落選した議員は、どちらに投票するかは読めない。オバマ大統領は、いまだ意思決定をしていない

議員に対して説得工作を続けているという。

米国民にとっての雇用の面からTPPに強く反対してきたAFL-CIO（アメリカ労働総同盟）のセレスト・ドレイク氏は、「我々のような左派の団体が、議会での批准阻止に向けて動いていることが重要。雇用を奪うTPPに賛成する議員は、一人残らず落とすつもりです」と断言した。同時に、「日本に伝えたいのは、アメリカも批准できない状況を見るべきだということ。アメリカの結果を待って国会審議を始めるべきです」とも付け加えた。

アメリカの民衆は気づいた。TPPは私たちすべての未来を傷つけるもの

アメリカでは、環境問題の面からもTPP反対の声が強い。全米最大の環境団体シエラクラブのポール・キーンリーサイド氏は、「TPPは環境問題の解決策にはならない。これが反対議論の一つになります。TPPが通れば大企業の投資活動により環境破壊が起こり、大変なことになる。日本の環境団体は条文を読んだのですか」と注文をつけた。

別日に、アメリカで2番目に大きな農業団体のナショナル・ファーマーズ・ユニオン（全米農

民組合）会長のロジャー・ジョンソン氏にもお会いした。彼らは、米国の弱小の家族農家が破産するとしてTPPに反対している。日本は、輸入農産物に日本の農業が潰されると考えているが、アメリカの農業も一つではない。ジョンソン氏は次のように述べた。

「アメリカにはとても深刻な貿易赤字があります。TPPはそれを防ぐことができず、不公平な条約なのです。巨大企業に特別待遇をあたえるものであり、多国籍企業が主権国家をその法律を超えて訴えることができるISDS条項もひどい。日本が直近でTPPを批准しなければ、私たちにとってもとても助かります」

さらに別の場でお会いしたパブリック・シチズンのロリ・ワラック氏も、こう述べた。

「歴史上初めて、民主・共和両党の大統領候補がTPPに反対し、毎日『Noだ』と言っています。これはアメリカの民衆のお陰です。みんな気づいたのです。TPP協定は企業の力をとても強くし、私たちすべての未来を傷つけるものだと。ワシントンの多くの人々が理解できないことは、アメリカ議会が恐らく『No』という前に、なぜ日本の国会がTPPを通すのか、ということです。これはとても危険なことで、単純に事実を知るべきです。私たちの議会がTPPを通す可能性はゼロに近いということを」



AFL-CIO（アメリカ労働総同盟）の貿易政策スペシャリスト、セレスト・ドレイク氏



シエラクラブの「責任ある貿易プログラム」の貿易研究者で弁護士、ポール・キーンリーサイド氏



パブリック・シチズンのグローバル・トレード・ウォッチの国際キャンペーンディレクター、メリнда・セント・ルイス氏



ワシントンにあるパブリック・シチズン事務所で行われた会合。先方の好意で、AFL-CIO、シエラクラブのメンバーも集まった

株式会社大地を守る会は、子どもたちの未来のため、日本の第一次産業を守り、人々の生命と健康を守り、持続可能な社会を創造するために活動しています。

安心して食べられるおいしい野菜や加工品、からだに優しい化粧品や衣類など、国産を中心に約11,000品目の商品を宅配でお届けしています。

ホームページ www.daichi.or.jp 大地宅配 0120-158-183
大地を守る会のウェブストア <http://store.daichi.or.jp>

大地を守る会
DAICHI no MAMORU KAI

全農林

全農林は、地域社会と農林水産業を守るため、TPPに反対します。

全農林労働組合 〒100-8950東京都千代田区霞が関1-2-1

第6回口頭弁論にぜひご参集を!



第6回の期日は、裁判の早期結審を回避させるためにも重要な局面となります。これまで5回の期日とも、200名を超える方が裁判所に集まりました。何としても、原告本人の尋問と証人尋問を勝ち取らなければなりません。弁護団はあらゆる手段を尽くしていきます。ぜひ足を運んでいただきますよう、よろしくお願いたします。

【 第6回口頭弁論期日 】

日時 11月14日(月) 14:30~

場所 東京地方裁判所103法廷
13:30 正面入口前で門前集会
14:00 傍聴抽選券配付
※抽選に漏れた方は、14:30~衆議院第2議員会館第1会議室(予定)にご移動ください。

内容 ①原告および弁護団の準備書面を陳述
②今後の訴訟進行についての弁護団の意見

報告会 衆議院第2議員会館 第1会議室(予定)

同日開催 /

TPPは多国籍企業が民主主義破壊のために送り込むトロイの木馬
—バイオテック企業は何を狙っているか?

印鑰智哉

(株式会社オルタナティブ・ジャパン)
14:30~ 衆議院第2議員会館第1会議室(予定)

第3次提訴

まだまだ /

原告募集中!

第3次提訴に向けた準備を進めています。一人でも多くの原告参加を呼びかけます。

会員5,462人 原告2,229人
(9月2日現在、延べ)

原中代表辞任に伴う、池住代表代行就任について

このままTPP交渉が進められたら大変なことになる……。こうした危機感から、2015年1月、「TPP交渉差止・違憲訴訟の会」は発足しました。それから2年、TPP交渉は秘密裏に進められ、今年2月に協定は署名され、現在は各国による批准手続きの段階へと進んでいます。

そんななか、発足以来、会の「代表」として活動を牽引してこられた原中勝征さんが、本年8月、健康上の理由から代表を辞されました。原中さん、これまで本当にありがとうございました。訴訟の会は、8月4日に臨時の役

員会を開き、副代表の池住が代表代行に就任することを決定いたしました。

TPPは、今まさに正念場を迎えています。訴訟の会は、TPPの違憲性を司法に厳しく問い続けるとともに、批准阻止に向けた運動にこれからも取り組み続けます。原中さんの想いも受け継ぎ、第二ステージへと歩みを進めていきます。みなさん、今後ともご協力・ご支援を、よろしくお願いいたします。

(代表代行 池住 義憲)



おすすめBOOK

『続 そうだったのか! TPP 24のギモン』

TPPテキスト分析チーム 編集・発行 / 2016年8月



発行2カ月で7万部を突破! TPP協定文の公開後、条文の分析を進めてきた分析チームのレポートを、わかりやすい24のギモンにまとめた1冊。学習会やイベントのテキストにも最適。

『アメリカも推准できない TPP協定の内容はこうだった!』

山田正彦 著 / CYZO / 2016年8月



このままでは日本は破滅する! 元農水大臣の山田正彦氏が、専門家たちによる分析チームを結成して、6,000ページにわたるTPP協定文書を精査。国民が知るべき情報をまとめた1冊。

『悪魔の食卓』

鈴木宜弘 著 / KADOKAWA / 2016年6月



嘘で塗り固められたTPP。アメリカの要求に応え続ける底なし沼、農家所得倍増計画の欺瞞。日本農政とTPPを見続けてきた筆者が暴く。「安全保障の要は食料」今ならまだ間に合う!